

ドイツサッカー連盟からの女性コーチ派遣のお知らせ

ドイツ連邦大使館、エボニック デグサ ジャパン株式会社※1のご協力をいただき、東日本大震災の復興支援の一環で、ドイツサッカー連盟より女性サッカーコーチ、モニカ・シュターブ(Monika Staab)氏が、4月1日から約半年間宮城県に派遣されます。

シュターブ氏は、日本代表の熊谷紗希選手が現在所属するドイツ女子ブンデスリーガ1部 チーム1. FFC フランクフルトの監督として在任中、同チームを数多くの国内タイトル(ブンデスリーガ4回、女子DFBポカール5回)および国際タイトル(2002年UEFA女子チャンピオンズリーグ)に導いた実績を持つ人物で、現在はFIFA公式コンサルタントとして、世界約71カ国でコーチ活動等を行っています。

派遣期間中は、県内もしくは岩手、福島の中・高校生を中心に指導をしていただく予定です。すでに、4月から5月の2ヶ月で、県内の高校女子チームや東北・宮城女子U-15トレセンや岩手県で、多くの女子選手に指導を頂きました。今後も、指導者講習会等も開催予定です。



4/12 記者会見の様子



ベガルタレディースでのトレーニング



※1 エボニック社は、ドイツ・ブンデスリーガのボルシア・ドルトムンドのメインスポンサーでもあり、同チームには日本代表の香川真司選手が所属しています。)